

# 保育上の新しき試み

倉橋生

## 神戸幼稚園の大圓形机

神戸幼稚園では机に就てなく苦心して居られる。同園には明治二十年時代からの普運の二人用机と、山三尺長六尺の長方形臺と、其の後新調した二人用机と、今春新調の大圓形机とがあつて、その中長方形臺と馬蹄形机とは、玩具の随意遊び室に用ひ、毎日保育には二人用をいろい

類はないけれども、その得失、排べ方の工夫等に就ては、まだ充分精密に研究せられて居ない。悪く言へば在來のまゝ平氣で使はれて居るといふ風もある。勿論中にはいろい研究し工夫しても、直に實際に試みると云ふことが容易でない爲に、そのままになつて居るのも多からう。どちらにしても、どしどく新しい研究が實行せられないことは殘念である。

モントツソリ一式でいへば机なし保育でなければならぬことになり、従つて此の問題もなくなるが、實際吾々の保育で、此の式が實際どこ迄行はれ得るものかも怪まるし、さればとて小學校の教場通りの机腰掛をのまゝ如何にもそのお古せられてある。元來幼稚園の机は、そんなにも種

を拜借して來たようなのでは、お話にならぬし。そこに何とか幼稚園には幼稚園に適當な各組に適當した机といふものが研究せられべき筈である。

殊に此の苦心は、幼年級に於て一層必要になる。成るべく學校らしくならない様に、保母が充分自在の位置をとり得る様に、幼兒の姿勢を一方に偏固せしめない様に、出入りの運動の自在なる様に、その他彼れやこれやと考へ出すと、中々完全のものは六かしい。

その一案として保育室一ぱいの大圓形机は、確に新らしい試みである。直徑九尺、高さ一尺四寸五分、之れが保育室の中央においてあると中々大きい。小さい椅子をその周圍に配つて、ぐるりと取りかこめば、十五人でゆつくり。間をつめれば、も少し多勢を使へる。尚面白い工夫は、之れが中央で二つに割れる。

るようになつて居る。つまり半圓を二つつないだるものである。之れは運搬上、殊に狭い入口を出し入れする時の用意である。またもう一つの工夫は、足のつげるようになつて居ることである。即ち幼児の身長（勿論一人人々にといふ譯にはゆかぬが、平均に就て）に應じて、此の机を高くし得るのである。

實際使用上の経験から出た保母の方の意見によると、長所として次の諸點が擧げられて居る。

一。組中の幼児が皆一團となつて相向ひあひ、顔を見あはせて居る故、背中を見て居る風の机の列べ方よりは、鉛々愉快らしい。

二。保母は、幼児と一緒に机をとりかこむ故、普通の、保母だけ一人前に居て幼児を向はしむるよりも、先生らしく、しかつめらしい處少なく、幼児といつしよの感じを持たせ得る。

### 三。保母は始終、幼兒の後をぐるぐると廻り得

る故、監督が甚だ便利である。

四。幼兒にものを分つとき坐ながら順々に遞送

せしめ得て、便利にまた面白い。

また短所としては次の點が上げられて居る。

一。保母が談話する時、その兩側にある四五人

の幼兒は、無理な姿勢になるか、或は位置

を變せしめなければならぬ。

二。中央は、机の大きいだけに周縁よりの距離

遠く、幼兒の使用區域にならぬ。即ち多少

無駄の感あることあり。

實際同園で拜見した時も、直ぐ右の様に感じが起つた。後望月園長といろくお話をした時も右の諸點を考へた。即ち細かに見れば多少の短所も無

しとはいへぬかも知れないが、少なくも最幼者の組には、在來一般のよりは極く適當といはざるを得ない。

兎に角、幼兒相互の背中あはせは大禁物である。

また、談話以外の時に於ては、一齊に先生に向ふ

て坐すといふ必要はない。友達の背中を見ながら

手技などするといふことは、甚だ以て非幼稚園式

なことである。先生の談話を静聽する時の外は、

幼兒は相互中心であるべきである。實際子供が相

團樂する時は相互中心のまとむである。保育室内の

生活もなるべく、之れと同一ならしむべきもの

である。——斯ういふ原則から見て、少なくも最

幼級には、大圓形机を適當と思ふ。但し餘り多數

の幼兒を狭い室内に入れるべき、空間上の無理を

しなければならぬ時には、此の机は用ひ難いかも

しない。左もなくて、出來ることならばお勧めし

度いと思ふのである。先づ机を斯ういふ風に改良

して御覽なさい。それに従つて、いろく新らし

い思ひつきも出る。最幼組には最幼組らしい保育

をし度いと思ふ苦心に對して、意外な解決の緒と

なることもあろうかと思ふ。

さて、新らしく此の大圓形机を作らるゝ方があつたら、たゞ此の通りにすべきか、何とか一層の新工夫があるまいか御一考御三考を願ひ度い。望月園長も、此の次拵へる時には、また工夫もあると言つて居られた。就ては望月園長にもお話を一二思ひつけの點を参考のため書き添ておく。

(イ) 二つに割れるのを、もつと四つ位に分れ

る様にしては如何。

(ロ) 中央をくりぬいて、圓い穴の出来るよう

にしては如何。

小さく切れば、それだけ運搬に都合がいい。また、都合によつては切つて使ふことも出来る。假りに四つ割のものを一つ抜いて三つだけ、つないだとする。中央の切りぬきが扇面の下になつて、扇形になる。先生が、こゝへ椅子を寄せる。少人數への談話の時などは至極面白いと思ふ。談話

の時に聽手を扇形に排べることは一番いゝ位置のとり方である。

中央の穴へは判り目の一つを溝のように少しあげておけば、こゝへ入ることが出来る。そして幼児の前面から世話をすることが出来る。(幼児の前面へ立てないのがたゞの大圓形机の缺點)。もし其用がなければ、中へ小卓を据ゑて花鉢など飾れる。

### ▲江戸堀幼稚園の砂箱

大坂江戸堀幼稚園の膳たけ子氏からお手紙  
砂場の周囲へ柵を設けて、大層結果がよろしい。  
砂箱を數個作りましたら之亦甚だ好成績。殊に小形の砂箱數十個を作り、各保育室にて各自に箱一個づゝを與へ遊ばせましたら子供等は大よろこび、最長最幼いづれの組にも大歓迎。尙幼兒の家庭でも至極面白い家庭用玩具なりとて、わざわざ此の箱をつくり用ふる家が出来、誠に價安く、